

## 西部労福協第50回定期総会開催される 幹事県は、島根県から香川県へパトタッチ

西部労福協は、第50回定期総会を2020年2月20日（木）、高松市「ホテルパールガーデン」において開催しました。総会冒頭、議長に榎原一吉議員（連合香川事務局長）を選出しました。



定期総会全景

総会は、中央労福協南部美智代事務局長、香川県商工労働部近藤清志理事、高松市大西秀人市長をはじめ香川県労福協森信夫会長等7人の来賓、西部労福協役員、各県代議員、傍聴者等総勢79人が参加しました。



成相会長



中央労福協南部事務局長



森新会長

西部労福協成相善朗会長（島根県労協理事長）は主催者を代表し、「2年間を振り返り、中四国地方は大きな自然災害に見舞われ、たくさんの方が亡くなり被害に遭われた。謹んでご冥福とお見舞い申しあげたい。経済状況について、GDP 指標でも景気の後退は明らかであり、新型コロナウイルスの影響も今後広がっていく中、働く人が実感できる賃上げと格差の是正を求めていく。また、この間、労金、こくみん共済 coop の福祉事業団体の基盤拡大に向けた取り組みや、静岡県労福協への視察研修を通じてフードバンク事業の重要性を学ぶとともに取り組みも行ってきた。労働者福祉に関する各県の取り組みに敬意を表するとともに、中央労福協結成70周年を経て、『福祉はひとつ』の創業の精神を再認識し、新たなビジョンのもと、各県労福協での取り組みをお願いしたい。」と挨拶を述べました。

その後、来賓の方より「労働者福祉事業への賛辞と高松市来訪への歓迎」の祝辞が続きました。中央労福協南部事務局長は、「中央労福協は結成70周年を経て、この先10年、どのような理念のもとどのような社会を目指して運動をどう進めていくのか、このことを労福協全体で確認し合う、結束を固め合うものとして新ビジョンの作成を行った。『今だけ、ここだけ、自分だけ』という社会の風潮がある中、私たち労福協が掲げる共助の拡大、福祉は一つ、助け合い・支え合いの価値が今まで以上に重要になっており、すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会、SDGs の目指す誰一人取り残されない社会を築きあげていくためにも、結束して労働者福祉運動をさらに広め、強めていかなくてはならない。」と祝辞を述べました。

### 〈総会次第〉

- 第1号議案 2019年度活動報告
- 第2号議案 2019年度決算報告・会計監査報告
- 第3号議案 2020年度活動方針（案）
- 第4号議案 2020年度予算（案）
- 第5号議案 役員改選について

総会は、すべての議案を西部労福協福岡事務局長が報告、提案し、全会一致で承認可決されました。

夕方開催された西部労福協第50回総会記念レセプションでは、森新会長の挨拶の後、2009年度以降の10年間に、西部労福協会長・事務局長を担っていただき、中四国の運動を牽引いただいた香川県の小川俊元会長をはじめとする4名の先輩方を紹介し、挨拶を頂きました。

定期総会后、下記の記念講演を行いました。

### 【記念講演】

- 演題 「国際労働財団（JILAF）  
設立30周年記念スタディ  
ツアー（タイ・ネパール）  
参加報告」
- 講師 金澤稔岡山県労福協会長



## 「講演要旨」

国際労働財団（JILAF）は、連合によって設立され、開発途上国を中心とした海外の若手労働組合指導者を招へいしたり、開発途上国の労働組合が主体性をもって企画・運営する現地支援事業を行っているNGOで、今回のスタディツアーは、2019年12月3日～9日までの日程でタイ・ネパールを訪問した。タイ王国は、2014年から軍事独裁政権下にあり、貧困格差は世界一といわれるうえに、労働力不足により安価な移民労働者が急増している。そのため、スラム街も多く、学校にいけないうえに識字率も低いなど多くの人が貧困の連鎖に陥っている現状である。ネパール連邦民主共和国は、農業人口が約7割の後開発途上国で、カースト制度による身分差別が根強く、貧困のため子供の多く

が労働力として扱われている。貧困と格差は、日本でも大きな問題となっている。私たちに求められている課題として、①国民のための成熟した政治と健全な民主主義の必要性②行き過ぎた経済至上主義からの脱却③富の公平な分配と労働者の地位向上における労働組合の役割発揮④教育を受ける機会均等の重要性⑤年齢、性別、国籍、人種、働き方、障がいの有無などにかかわらず多様性を受け入れ、お互いに認め支え合う社会の実現⑥今、行動を起こさないと日本も将来、同様の社会にという問題提起を受け、今後の活動にいかしていくことを参加者全員で共有しました。

報告 松本 敏和（島根県労福協）



タイのゴミ山スラム

## 福祉事業団体利用拡大キャンペーンの「各地区労福協の取り組み結果報告」について

福祉事業団体利用拡大キャンペーンについて、各地区労福協の取り組み結果を下記のとおり報告します。

地区により取り組みの濃淡が顕著になっています。3か月間のキャンペーン実績に基づき、運動の成果と課題を明らかにし、各地区の年度末目標達成に向けてどのように取り組むか、地区労福協として、労金部会ならびに労済部会の運動推進に対するより強い指導性の発揮と、積極的な関与をお願いするとともに、適宜幹事会を開くなどして現況把握と今後の取り組みについて意思統一をお願いします。

### 福祉事業団体利用拡大キャンペーン取り組み目標（2019年10月～12月）と結果

地区名 推進項目	松江	隠岐	安来	雲南	出雲	大田	江津	邑智	浜田	益田	合計
中国労金 他金融機関等 ローン借換え件数	45	5	15	6	40	12	3	3	8	4	141
◇12月末実績	36	0	16	2	17	4	2	5	8	8	98
中国労金 個人型確定拠出年金 〔イデコ〕新規契約件数	110	32	35	13	104	50	25	10	16	30	425
◇12月末実績	37	2	24	21	42	4	12	7	20	25	194
中国労金 会員への 提案活動件数目標	40	5	3	3	29	6	5	5	10	5	111
◇12月末実績	22	4	8	8	20	6	4	9	19	11	111
こくみん共済 coop マイカー共済 見積もり件数	160	10	80	40	90	20	20	10	40	30	500
◇12月末実績	173	3	118	24	145	23	19	2	57	30	594
こくみん共済 coop 自賠責共済 (保険) アンケート回収件数	160	10	80	40	90	20	20	10	40	30	500
◇12月末実績	714	28	623	52	157	28	52	29	64	16	1,763

## フードバンクしまね “あったか元気便” からのお願い

①あなたもぜひ賛助会員に！  
個人1口 1,000円  
団体1口 10,000円

企業・団体のみなさん!!  
ぜひご協力をお願いします。

②お米の提供をお願いします。  
※できれば玄米で冷蔵保存のもの

③レトルト食品やお菓子など  
※賞味期限まだ2か月位あるもの

2018年6月から、子どもを抱える生活困窮世帯を対象に地域の諸団体によるフードバンク活動を試行的に始めました。松江市古志原地区の協力を得て、給食がない夏休みに2回と12月にはお正月のお餅やクリスマスカードも添え、お米や食料品を延べ84世帯に送りました。

また、2019年6月6日には、フードバンクしまね“あったか元気便”を下記の諸団体、個人の参加で設立しこの取り組みをさらに広げていくことにしました。昨夏も86世帯に計2回お送りしました。

今年度は、春休みにも食料品をお送りする予定です。ぜひこの取り組みへのご理解をいただき、賛助会員

になっていただきますようお願いいたします。玄米やご家庭で少し余っている「レトルト商品、お菓子等」も集めています。

子どものいる家庭に「食料と心」を届ける活動です。その校区の皆様と共に活動することを大切にしています。また、少しずつその範囲を広げていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

松江市近郊にお住まいで関心のある方は、島根県労福協（☎23-3302担当、岡）へお電話ください。また、ホームページも新設しました。「フードバンク島根」で検索してください。

### ★★★★★★★★★★★★ ~ ご利用者から寄せられた声 ~ ★★★★★★★★★★

#### ～ 福袋（福箱）だね…～

段ボールいっぱい色々な（普段買わないようなものも）つめられていて、子どもと「福袋（福箱）だねー」と喜びました。フードバンクがもっと有名になって、色々な人が利用できるようななればと思います。（母、小学生）

#### ～ 一人でやっているんじゃないだと勇気づけられます～

松江市内の沢山の地域でこの取り組みがあれば、一人親で子育てしているお父さん、お母さんにとって、とても励みになり、一人でやっているんじゃないだと勇気づけられます。この活動がずっと続いていることを願います。（母、小学生）

#### フードバンクしまね「あったか元気便」の構成団体・個人

島根県農業協同組合      生活協同組合しまね      松江保健生活協同組合      グリーンコープ島根  
島根県労働者福祉協議会      地域つながりセンター      竹谷強（古志原公民館長）      他個人会員等

#### 【賛助会員のみなさま】（1月末日現在）

中国労金島根県営業本部、連合島根、  
こくみん共済 coop 島根推進本部、島根県生協連、  
山陰温調工業株式会社、松栄印刷有限会社、  
明和印刷有限会社、リコージャパン株式会社島根支社、  
大学前のつ内科クリニック、株式会社マース、株式会社ミック、  
全農林労働組合松江分会





## 2019年度NPO寄付システム寄付金を贈呈



このほど島根県のNPO中間支援団体である「ふるさと島根定住財団」より「2019年度中国ろうきんNPO寄付システム」の寄付金の贈呈がありました。近年の寄付額の増加に伴って、今年度は46団体からの応募があり、厳正な審査の結果29団体に計172万円の寄付が行われました。

例年開催している贈呈式は、新型コロナウイルスの感染拡大をうけて関係者の方々の健康・安全面を第一に考慮した結果、残念ながら今年度は中止となり、各贈呈団体へは目録等がそれぞれ送られました。

2020年度も100名を目標に契約者の拡大に取り組むこととしています。各地区労福協の皆さんのご理解とご協力を引き続きよろしくお願ひします。

2019年度のNPO寄付システム贈呈団体は、次のとおりです。

団体名	所在地	団体名	所在地
河南はつらつセンター	出雲市	さくらおろち	雲南市
Y.Cスタジオ	松江市	自然と人間環境研究機構	松江市
ぼんぼん船	出雲市	かえる倶楽部	出雲市
療育センター燦々	出雲市	日本寧夏友好交流協会	松江市
島根糖尿病療養支援機構	松江市	石見銀山資料館	大田市
地域活動支援センターよしかの里	吉賀町	さくら総合スポーツクラブ	安来市
緑と水の連絡会議	大田市	ディオッサスポーツクラブ	出雲市
かみいとう	松江市	出雲市空き家相談センター	出雲市
隠岐しぜんむら	海士町	しんじ湖スポーツクラブ	松江市
おやご劇場松江センター	松江市	エスペランサ	出雲市
ミライノタネ	津和野町	防災支援センター	益田市
島根教師力向上支援研究会	邑南町	らんぐ・ざーむ	浜田市
ただも	奥出雲町	浜田自立支援センターウェルチャーム	浜田市
バリアフリー・シマネ&ライブ・ネットワーク	松江市	スサノオの風	出雲市
		中村元記念館東洋思想文化研究所	松江市

### 「キッズセミナー」開催のご報告

昨年2月に浜田市・益田市にて開催され、好評を博した「キッズセミナー」が、2020年2月15日（土）出雲会場、16日（日）松江会場の2カ所で開催されました。

参加者を動物になぞらえ、架空の通貨やおこづかい帳を駆使しながらお金の管理や貯蓄をゲーム感覚で学べるこのイベントに、2日間で29家族69名（大人29名・子供40名）の皆さまにご参加いただきました。



### 「マイカー共済見積もりアンケート」「自賠責共済（保険）アンケート」取り組みの御礼について

10月～12月「マイカー共済見積もりアンケート」「自賠責共済（保険）アンケート」収集に取り組みいただき誠にありがとうございます。

今回の取り組みも全国のこくみん共済coop各推進本部が統一で実施する「7才の交通安全プロジェクト」と連動し、見積もり件数に応じて594本の横断旗寄贈を予定しています。



### 「こくみん共済」キャンペーンと「こどもの成長応援プロジェクト」のお願い

こどもの成長応援プロジェクト  
こどもたちの成長のために  
なわとび・長なわを贈ろう!

2020年1月～3月の期間にて「こくみん共済キャンペーン」と連動し、資料請求・見積もりをいただいた件数に応じて、なわとびを寄贈する「こどもの成長応援プロジェクト」の取り組みを展開しています。

「こくみん共済」をご検討いただくとともに、こくみん共済coopの子育てサポートの取り組みに、ぜひご参加ください。

